

第23号

関宿城
博物館

友の会

会報誌

[平成27年12月31日] 刊行

千葉県立関宿城博物館友の会

〒270-0201 野田市関宿三軒家143-4

TEL.04-7196-1400 FAX.04-7196-3737



千葉県立関宿城博物館友の会主催 「ミニ門松づくり」教室開催 2015. 12. 6

去る12月6日(日)関宿城博物館集会室に於いて、友の会主催の「ミニ門松づくり」教室が開催され、5組の参加者が「ミニ門松づくり」にチャレンジしました。講師は本年度も野田市みどりのふるさとづくり実行委員会研修部会長の川島昇氏にお願いしました。

本教室は今回で3回目、「縄の結び方」等ポイントとなる工程に四苦八苦の連続でしたが、講師の先生の丁寧な指導により無事完成しました。

「福の神様」がきっとこれら作品「ミニ門松」を目印に降臨されることでしょう。次回の教室にはあなたも参加してみませんか……！！



中村会長(右側)の開会挨拶に
続き川島講師(左側)による作業
手順の説明
机上は解説用の見本



初参加者も含め和やかな雰囲気で教室は進行



只今作成中
机上は教材
の数々



間もなく完
成……？

門松物知り帳

● 門松の竹の切り口

そぎ落された切り口の「そぎ」と、「寸胴(ずんどう)」という真横に切った切り口が存在します。近年多く見られる「そぎ」の切り口は、徳川家康が始めたという説があります。1573年に起こった「三方ヶ原の戦い」で大敗した家康は、対戦相手だった武田信玄を竹に見立てて斜めに切り落としました。こうして「そぎ」の切り口が誕生したと言われています。

「三方ヶ原の戦い」は家康にとって生涯唯一の敗戦とも言われているので、戦いに負けた時は「次こそ信玄の首を取ってやる」と、とても悔しい気持ちの表れだったのでしょうか。

● 縄の結び方

竹を立てる容器の周りに「こも」言われる藁を布状にしたものを巻いて、縄で3箇所結びます。一番下が7周巻き、真ん中が5周巻き、一番上が3周巻きとなっています。門松が一番長い竹と7周巻いた縄を男性に例え、一番短い竹と3周巻いた縄を女性に例えています。そして中くらいの長さの竹と5周巻いた縄が男女の仲を取り持つものとされていて、全てが2で割り切れないという縁起の良い比率になっているとのことです。

歴史散歩

関東やきものの里を訪ねて

平成27年10月25日(日)開催



益子国際工芸交流館



陶芸家・濱田庄司住居跡



登り窯



益子焼窯元共販センター

久しぶりの益子でした。陶芸には若干、興味があり「成井窯(なるいがま)」を楽しみにしていました。工房に入り、目に入ったものは薄暗い中に天井から吊り下げられた鉄瓶、土間の囲炉裏(いろり)の弱い火・立ち上がる燻煙(くんえん)。雑然とした室内。

そんな中で黙々と作業を続けている様子は百年位タイムスリップした感じを受けました。

『手動、いや、足で動かすので足動轆轤(ろくろ)?<一般には「蹴り轆轤(けりろくろ)」と呼ばれています>』による作業は、「さすがにプロの技!」と感激ひとしおでした。足の裏が当たる部分は美しいほどに磨かれ、粘土に添える手は優しく、魔法の如く型を成して行く様子に、只じっと見ているだけでした。

「出来る事なら一日中、作業の様子や流れを見たい!」と感じた一時でした。

「電動ろくろに、一度挑戦して見たい。」と考えています。

友の会副会長 大野 要修



成井窯元の作業場風景
(左側:粘土こね 中央・右側:蹴りろくろを使った器づくり)

成井窯(登り窯)

友の会主催事業の紹介 <平成28年1月・2月>

- 1/3(日) 「ダイヤ凧作りと凧揚げ」教室
(9:30~11:00) 講師:友の会(大野副会長・市川理事)
只今参加者受付中
- 2/11(祝日) 家族・仲間で作ろう「熱気球作り」教室
(10:00~12:30) 講師:三浦和信氏(友の会会員、元関宿城博物館館長)
参加者受付期間:平成28年1月11日~2月1日

【編集後記】 刊行来はじめての会員様からの投稿記事を掲載いたしました。次はあなた! お待ちしています。今年の漢字は「安」に決まったようです。(不)安全・(不)安心等思い当たる事件・事故が多発した年でした。「健康が保てたことに感謝!」でしょうか…。会員の皆様が健やかに新年を迎えられますことを心から祈念しています。(広報・長岡)